

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	工業英語※
科目基礎情報						
科目番号	0173			科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	電気電子工学科			対象学年	5	
開設期	前期			週時間数	前期:2	
教科書/教材	「工業英検3級クリア」 高橋晴雄, 中村裕木子(日本能率協会マネジメントセンター)					
担当教員	油谷 英明					
到達目標						
1. 技術・(電気電子)工学を説明する上で必要な専門用語の単語・語句を有することができる。 2. 実際に使用されている英語表現や構文などの文法を正しく使用することができる。 3. 技術・(電気電子)工学を説明する上で必要な数字・数式などの英語表現を使うことができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	技術・(電気電子)工学を英語で表現する上で必要な単語・語句を工業英語3級レベル以上*で有することができる。*TOEIC400点相当とする		技術・(電気電子)工学を英語で表現する上で必要な工業英語3級レベル中程度まで専門用語の単語・語句を有することができる。		技術・(電気電子)工学を英語で表現する上で必要な専門用語の単語・語句を有することができていない。	
評価項目2	実際に使用されている英語表現や構文などの文法事項を正しく使用して簡潔に取扱説明書や、コミュニケーションに必要な十分な英文を書くことができる。		英語表現や構文などの文法事項を考慮して、簡単な説明文、操作指示文などを書くことができる。		英語表現や文法事項が正しく使用されておらず、十分な文を書くことができない	
評価項目3	技術・(電気電子)工学を説明する上で必要な数字・数式などの英語表現を理解し、応用することができる。		技術・(電気電子)工学を説明する上で必要な数字・数式などの基本的な英語表現を使うことができる。		数字・数式などの基本的な英語表現を使うことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	国際化の進んだ現在、技術者には専門英語文献雑誌や製品仕様書等の読解力とともに国際協働するためのコミュニケーション力としての英語力が今まで以上に必要とされている。本科目では電気電子 工学、コンピューター、一般工学分野の英文を題材として技術者として要求される英語力向上を目的とする。					
授業の進め方・方法	基本文法の確認を行うとともに工業技術英語で多用される表現、英文法、構文、活用法を演習等を通して習得する。グループ学習、英作文演習等から英文の内容把握力の向上を目指す。					
注意点	補助教材として動画資料やグループ学習用大判プリント教材 (LSH) 、関連フラッシュカード、課題などを活用しながら継続的に学習していくことが重要である。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、英語専門用語・単語の確認		調べた英語専門用語・単語を身に付けることができる。	
		2週	基本英文法の確認 1 基本英文法の確認 基本5文型（主語S、動詞V、目的語O、補語C） 教科書にある英文の分析と文法事項等を確認する。		基本5文型を理解し、英文を分析し、これら文法事項を確認できる。	
		3週	基本英文法の確認 2 品詞、句と節の違い、単文、重文、複文と5文型以外の文型について 教科書にある英文の分析と文法事項等を確認する。		品詞、句と節、単文、重文、複文と5文型以外の文型を理解して英文を分析し、これら文法事項を確認できる。	
		4週	基本英文法の確認 3 前置修飾、後置修飾、不定詞、分詞、関係詞 受動態と能動態 教科書にある英文の分析と文法事項等を確認する。		前置修飾、後置修飾、不定詞、分詞、関係詞 受動態と能動態を理解して英文を分析し、これら文法事項を確認できる。	
		5週	工業英語表現 1 技術解説などで必要な英語表現： 数字・数式の表し方		技術解説などで必要な数字・数式の表し方を理解して使うことができる。	
		6週	工業英語表現 2 技術解説などで必要な英語表現 構文、比較表現		技術解説などで必要な構文、比較表現を理解して使うことができる。	
		7週	英文和訳・英作文演習 1 英文和訳 (教科書、技術解説、インターネットでの英文) 及び英作文演習		題材とした英文の和訳と簡潔な英文を作成することができる。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	英文和訳・英作文演習 2 英文和訳 (工学教科書、技術解説、インターネットでの英文) 及び英作文演習 電気電子工学分野についての英文中心に演習		電気電子工学分野についての英文の和訳と簡潔な英文を作成することができる。	
		10週	英文和訳・英作文演習 3 英文和訳 (工学教科書、技術解説、インターネットでの英文) 及び英作文演習 電気電子工学分野についての英文中心に演習		電気電子工学分野についての英文の和訳と説明を行う英文を作成することができる。	
		11週	英語発表演習 1 卒業研究テーマに関する英文演習 卒研テーマの英語発表に必要な単語、語句、専門用語、例文を各卒研グループ・個人で調べる。		卒研テーマの英語発表に必要な単語、語句、専門用語、例文の意味を理解して、使うこと説明することができる。	
		12週	英語発表演習 2 卒業研究テーマに関する英文演習、2枚発表スライドの作成		卒業研究テーマに関する英文を作成し、2枚発表スライドの作成できる。	

		13週	英語発表演習 3 作成された2枚スライドを用いて発表リハーサル。各グループのメンバー全員が発表できるように練習。	作成された2枚スライドを用いて英語で一通り発表ができる。
		14週	英語発表演習 4 卒業研究についての発表会。各グループから1名ずつからなる発表グループを構成し、各テーマ担当が他のグループメンバーにプレゼンテーションを行う。発表会は公開形式	作成された2枚スライドを用いて英語で他のグループメンバーに分かりやすく発表することができる。
		15週	発表会総括と振り返り 授業や各発表に使用されている英単語、専門用語、英文、英文法事項の評価・分析し、発表の振り返りを行う。	授業や各発表に使用された英単語、専門用語、英文、英文法事項の評価・分析できる。
		16週	定期試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	4	前1,前2,前3,前4
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4	前1,前2,前3,前4
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	前5,前6
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	前5,前6
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	前5,前6
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	前5,前6
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	前7,前9,前10
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	前7,前9,前10
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前11
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前9,前10
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前9,前10
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前9,前10
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前9,前10
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前11,前12
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前11,前12,前15
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前11,前12,前15
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前13,前14,前15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前13,前14,前15

評価割合

	試験	課題	相互評価	グループワーク成果	プレゼンテーション	その他	合計
総合評価割合	60	10	5	5	20	0	100
基礎的能力	60	10	0	0	20	0	90
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	5	5	0	0	10